

取締役会の実効性評価

2023年6月1日
SMK株式会社

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、2022年度における取締役会の実効性について自己評価を行いました。

1. 評価方法

取締役会にて評価項目を協議し、2023年2月から3月にかけて全ての取締役（社内4名、社外2名）及び監査役（社外3名）に対して、取締役会の人員構成、会議運営、討議内容、連携・支援体制に関するアンケートを実施しました。その結果につき取締役会にて意見交換を行い、取締役会の実効性に関する評価をいたしました。

2. 前回（2021年度）の実効性評価で抽出された課題への取り組みの進捗状況

前回の評価で抽出された以下の2点については、改善の取り組みを行いました。

- ① 社会・環境問題に対する取り組みや中長期的な視野に立った経営戦略に関して議論する機会の充実
取締役会における中期経営計画の進捗およびTCFDに関する情報開示方針の審議、社外役員向け中期経営計画説明会の実施等、議論の機会の充実に努めました。
- ② 独立社外者のみによる議論の場の設定
2023年1月に独立社外者のみによる会合を実施し、今後も継続して定期的に実施することとしました。

3. 2022年度の評価結果

当社取締役会は、会社法及びコーポレート・ガバナンスコードに照らし、重大な機能不全や欠落等は存在せず、全体として有効に機能しているとの評価を得ました。しかし、2021年度の課題に対し改善の取り組みを行ったものの、中長期的な視野に立った企業戦略に関する議論や、十分な議論のための会議運営について、一層の改善が必要であることが認識されました。

4. 今後の取り組み

当社取締役会は、上記を踏まえ以下の点を重点的に取り組んでまいります。

- ① 中期経営計画について、実施結果のフォローと対策に関し十分な時間をかけて議論をし、企業戦略の更なる充実を図ります。
- ② 経営戦略に関する議論を十分に行うため、取締役会で議論すべき議案の更なる精査を行うとともに、取締役会開催回数の見直しを行います。

当社は、取締役会の更なる実効性の向上、コーポレートガバナンスの一層の強化を図るため、毎年取締役会の実効性に関する自己評価を実施し、改善に努めてまいります。

以上